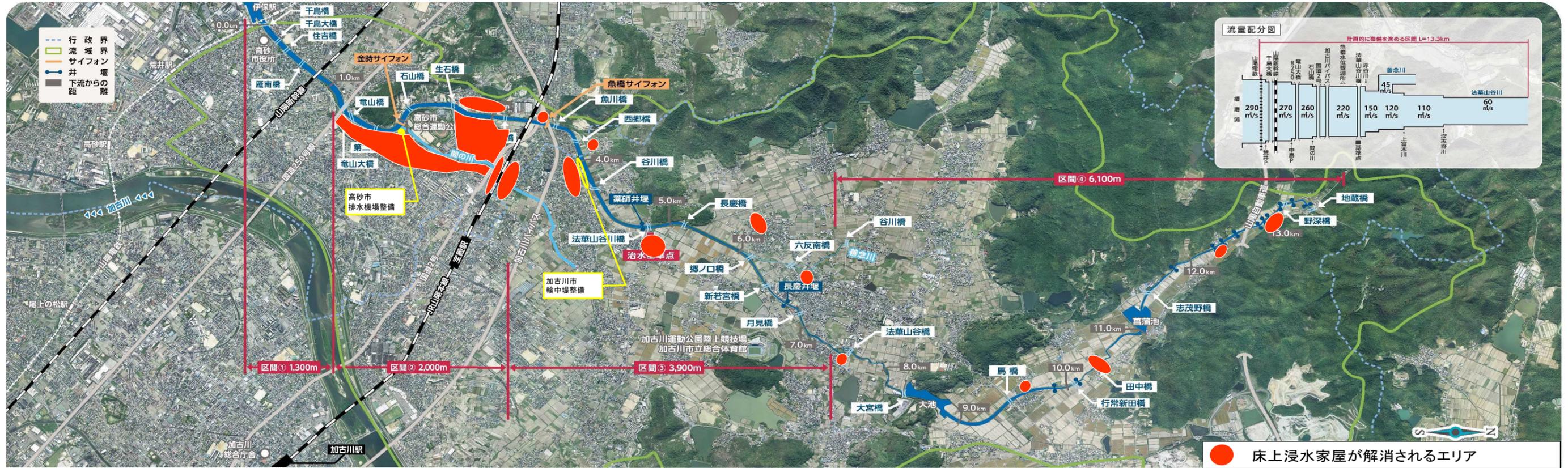


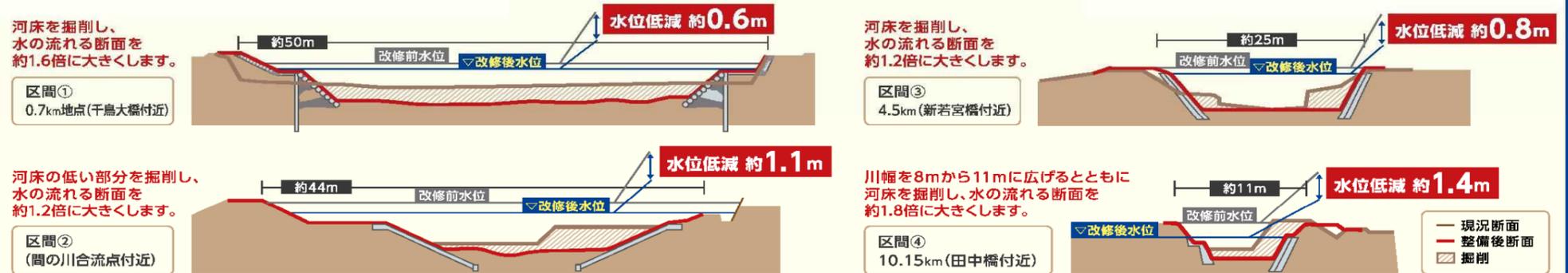
法華山谷川事業概要



【平成23年台風12号による浸水被害】



事業による河川の水位低減効果



- 目標: 平成23年台風12号の洪水による床上浸水家屋の解消
- 期間: 平成25年～平成29年の概ね5カ年
- 対策内容:
 - ①兵庫県 下流(山陽電鉄橋梁)～上流(地蔵橋) 13.3kmの河川改修事業の実施
 - ②加古川市 輪中堤の整備、間の川の水路改修
 - ③高砂市 排水機場の整備(1.13m³/s→6.5m³/s 約5倍)、間の川の水路改修

目標洪水に対し、県市が実施する①～③の対策によって床上浸水エリア約125haの浸水深が大幅に縮小し、床上浸水家屋424戸が概ね解消される。

法華山谷川 河川改修事業進捗状況【下流工区】

b 平成27年度工事の取組事例

■ 金時水路の保存

下流5-2工区(図面番号⑩)、金時サイフォン改築工事(図面番号⑩)では、江戸時代に整備され、今も地元の人から親しまれている金時水路や船置き場跡の一部を新たに整備する護岸や水路に移設し、保存する予定。



【金時水路】
金時水路、加古川の水を甲斐橋まで運ぶため、江戸時代に金時五郎、中村五郎右衛門によって整備された水路。

【船置き場跡】
船置き場跡。童山石を船で海に運ぶための施設と考えられている。

■ 童山石の利用

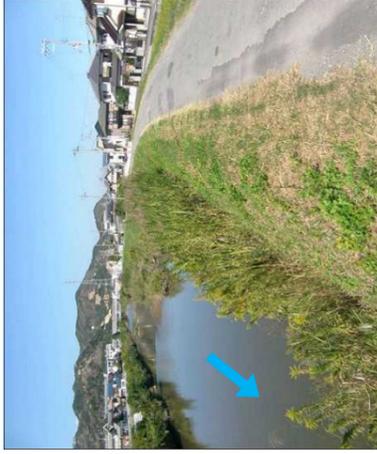
下流5-2工区(図面番号⑩)、下流6工区(図面番号⑩)では、地元の童山石を使い護岸を整備。



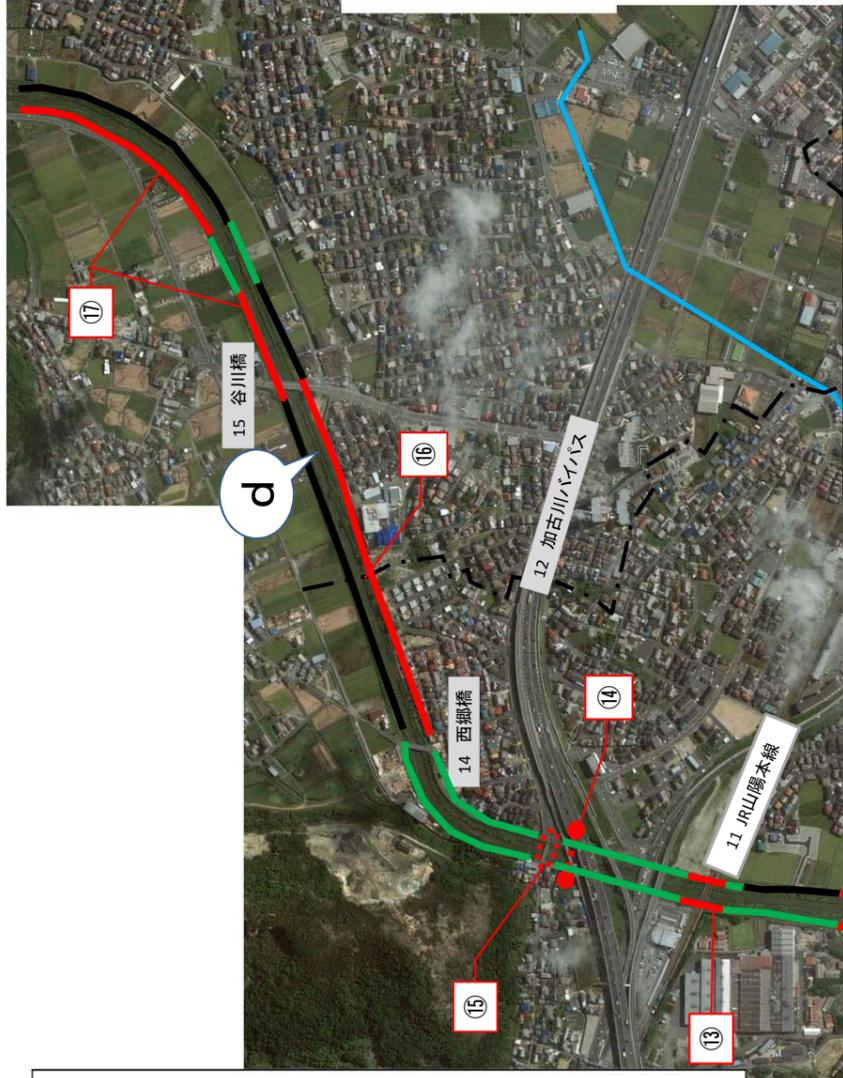
【童山石による石橋護岸(H26工事)】

c 生石橋上流

【改修前の状況 H25.5】



【左岸側の護岸改修後の状況 H27.5】



d 谷川橋下流

【改修前の状況 H25.5】



【右岸側の護岸改修後の状況 H27.5】



- 平成26年度までに完成
- 平成27年度工事
- 平成28年度以降工事予定

※河床掘削は平成28年度頃から着手

a 住吉橋上流

【改修前の状況 H25.5】

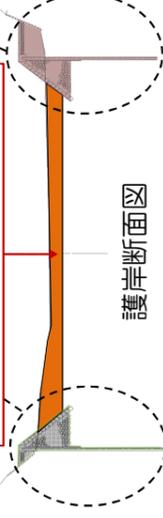


【護岸改修後の状況 H27.5】



河床掘削(約1~1.5m)

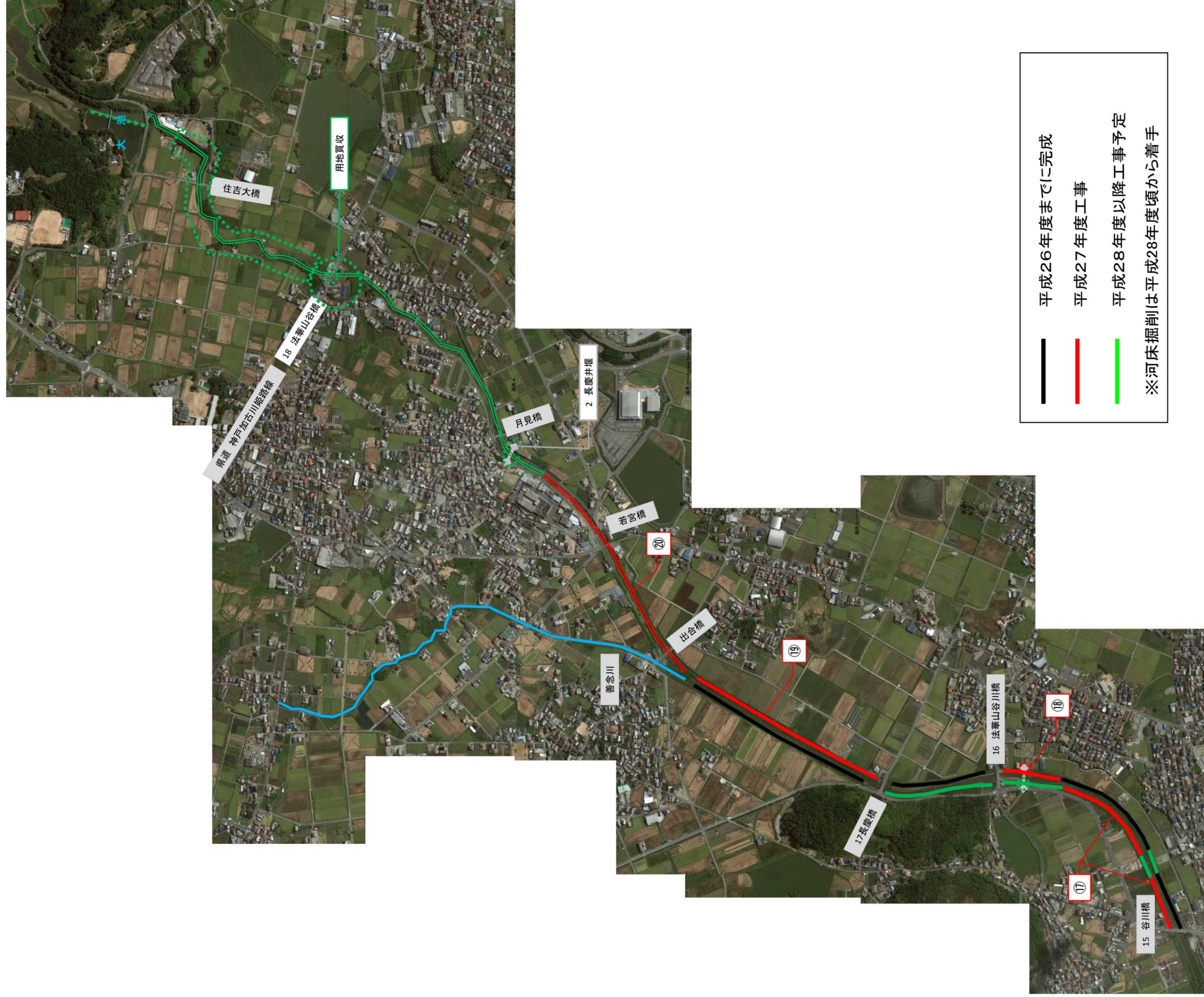
※護岸、橋梁架替・補強工事が完了後に実施



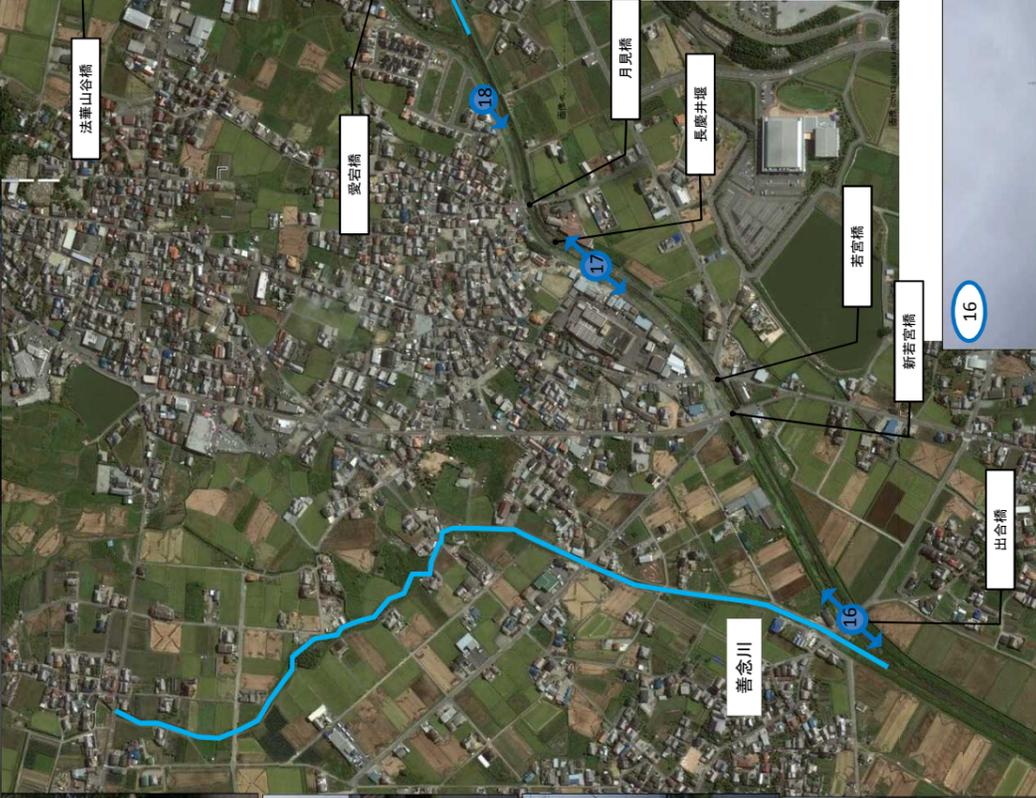
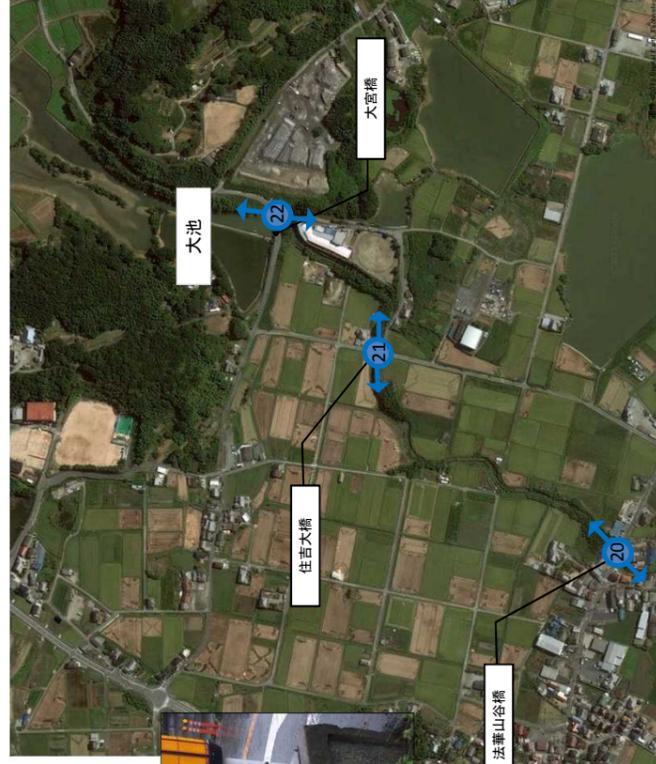
護岸断面図



法華山谷川 河川改修事業進捗状況【中流工区】



【中流工区】



【上流工区】

